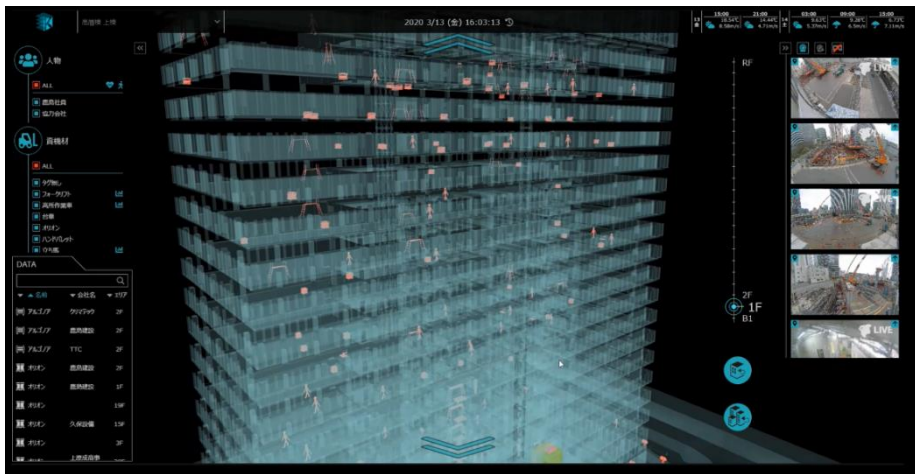


鹿島建設のリアルタイム現場管理システム『3D K-Field®』にて

クラウドを付帯した『obniz BLE/Wi-Fi ゲートウェイ』を採用、今後も順次導入予定



株式会社 CambrianRobotics (カンブリアンロボティクス | 本社:東京都豊島区/代表取締役社長:佐藤雄紀)は、鹿島建設株式会社(以下、鹿島)が建設現場で活用中のリアルタイム現場管理システム『3D K-Field』に対し、クラウドを付帯した『obniz BLE/Wi-Fi ゲートウェイ』の提供を2020年8月から開始しました。

『obniz BLE/Wi-Fi ゲートウェイ』は、独自のクラウドシステム上で、対象物の遠隔管理と一括操作ができる点が特長で、IoT 機器(センサーやビーコン)の一元管理を低コストで実現できることが評価されています。一般的なゲートウェイ(ネットワーク上のデータのやり取りをつなぐ役割を持つ機器、以下 GW)を用いた従来までの方法と比較して、システム導入および保守・管理コストの削減に貢献します。

CambrianRobotics は今後も、さまざまな産業へ『obniz BLE/Wi-Fi ゲートウェイ』を提供していきます。

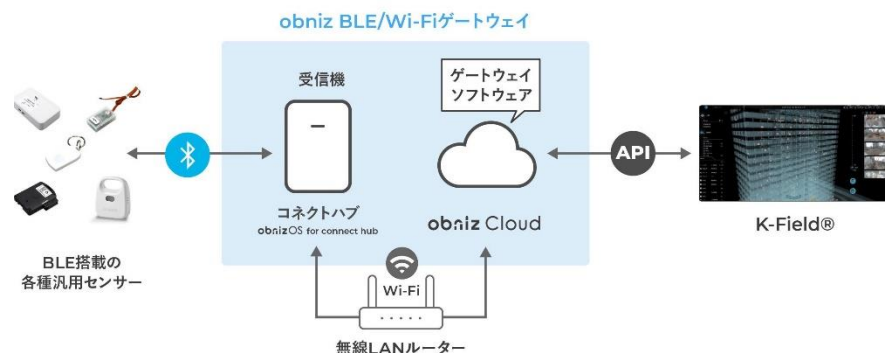
GW 導入と保守・管理コストを通常の機器より約3割削減

『3D K-Field』は鹿島が、2019年にアジアクエスト株式会社、マルティスープ株式会社と共同開発した、資機材や人の位置をデジタル空間上で可視化して管理できる、リアルタイム現場管理システムです。

『3D K-Field』のような資機材や人の位置情報を一元化する大規模なシステムの場合では、多数のGWやIoT機器(センサー)のセットアップや保守・運用管理のため、専門スタッフを現地に派遣し、作業に一定時間をかける必要があります。

『obniz BLE/Wi-Fiゲートウェイ』は、セットアップや保守・管理が容易なGWと専用クラウドでのIoT機器の一元管理により、導入と保守・管理にかかる工数や費用を削減します。

『3D K-Field』への『obniz BLE/Wi-Fiゲートウェイ』導入の結果、システムの安定を確保しながら、1拠点あたりのシステム導入費用と保守・管理コストは通常の機器の場合より約3割削減できました。



ニュースリリースに関する
お問合せ

株式会社 CambrianRobotics
PR 担当: アン
pr@cambrianrobotics.com

〒170-0005
東京都豊島区南大塚3-51-5
HK アークビル2F
TEL: 03-6912-7768

『3D K-Field』における『obniz BLE/Wi-Fi ゲートウェイ』の役割

位置情報データの取得、および一元化には、IoT 機器から発信されるデータを管理システムに送信する役割を果たす「ゲートウェイ」が重要な役割を果たします。

『obniz BLE Wi-Fi ゲートウェイ』は、電源コンセントに挿すだけで、ネットワークを介しながら IoT 機器を専用クラウドにつなげます。機器接続やサーバーへのデータ蓄積の設定などはすべてクラウド側で制御し、保守点検やプログラム変更、測位対象機器の追加もすべて遠隔から操作できます。



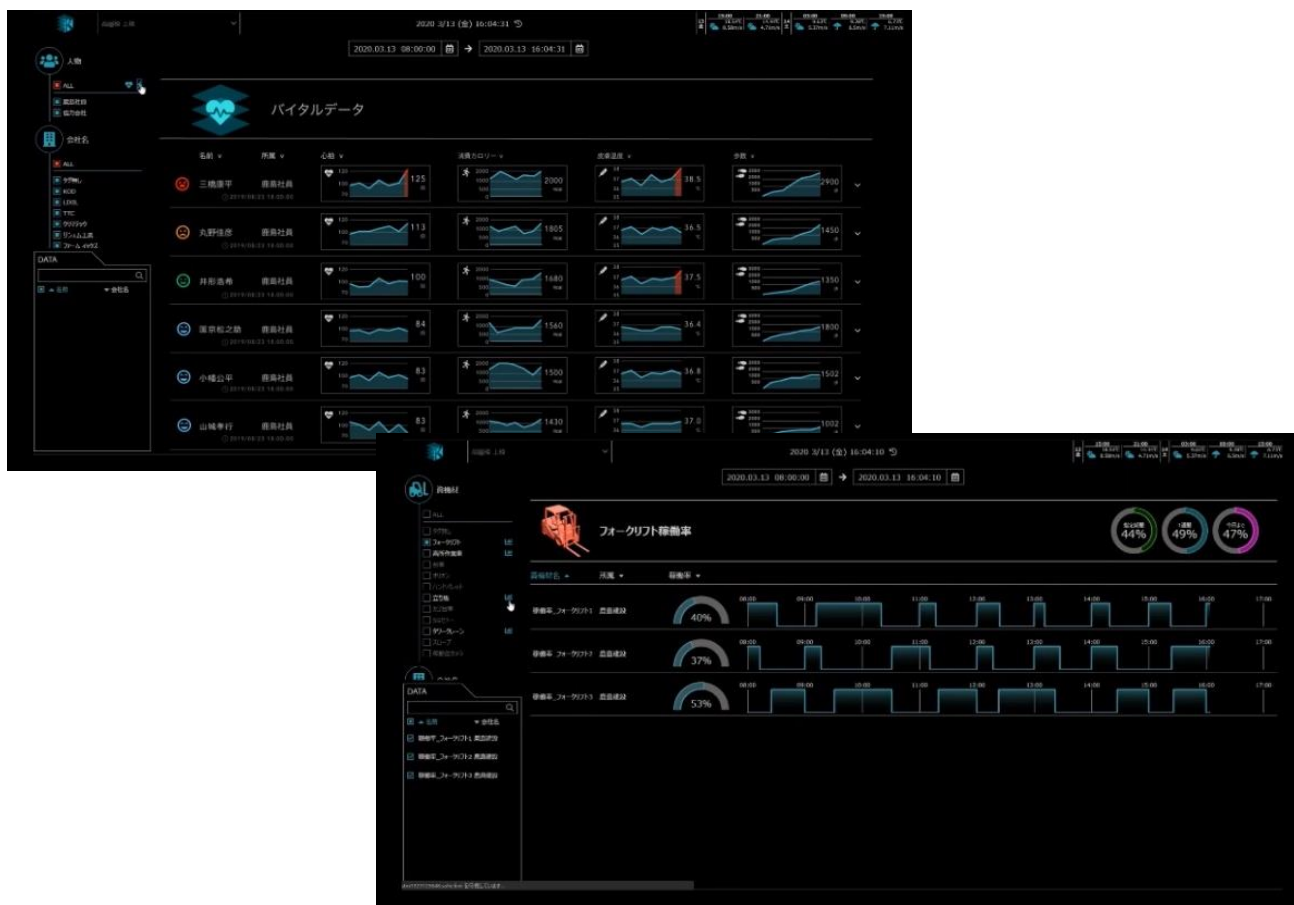
<参考情報>

■『K-Field』に関するプレスリリース

<https://www.kajima.co.jp/news/press/201903/6a1-j.htm>

■『3D K-Field』紹介動画(YOUTUBE)

<https://youtu.be/FYxkAOcR60Y>



ニュースリリースに関する
お問合せ

株式会社 CambrianRobotics
PR 担当: アン
pr@cambrianrobotics.com

〒170-0005
東京都豊島区南大塚3-51-5
HK アークビル2F
TEL: 03-6912-7768

『obniz BLE/Wi-Fi ゲートウェイ』とは

『obniz BLE / Wi-Fi ゲートウェイ』は、エンコアードジャパン株式会社が開発した『コネクトハブ』^{※1}を CambrianRobotics が独自の IoT テクノロジー『obniz』を活かしてカスタマイズした GW 機器です。

電源と Wi-Fi 環境があれば、コンセントに挿すだけでセットアップができるコンパクト型で、一般的な GW と比べて、1台あたりの価格は約2分の1に抑えながらも、高い機能性を持ち合わせています。

※1:ソフトバンク株式会社の子会社であるエンコアードジャパン株式会社が開発した世界最小クラスの Wi-Fi ゲートウェイ



<主な機能>

- ・BLE 通信ができるあらゆる IoT 機器に対応
- ・セットアップの工数が少なくスピーディ
- ・IoT 機器(センサーやビーコン)の一元管理を低コストで実現
- ・保守点検やプログラムの変更、対象機器の台数増減などの遠隔管理と操作をサポート

<製品^{※2} / サービス情報>

- ・サイズ:50mm×35mm×13mm(プラグ部除く)
- ・主な素材:難燃性ポリカーボネート
- ・電源:AC100V 50/60Hz
- ・Bluetooth:Bluetooth 4.2
- ・Wi-fi:IEEE 802.11b/g/n (2.4 GHz のみ)
- ・動作環境:温度:0℃~40℃/湿度:10%~90%
- ・消費電流:最大 0.1A

※2:『コネクトハブ』の仕様

- ・専用の『obniz Cloud』サービスを付帯



『obniz BLE/Wi-Fi ゲートウェイ』は、1台あたりの価格、保守・管理のしやすさ、機能拡張性、目的や施設変更への対応力によって、さまざまな企業の IoT 化推進に役立てられています。さらに、Wi-Fi 環境の制約を解消するバージョンも今後展開予定です。

『obniz BLE/Wi-Fi ゲートウェイ』は、ご利用用途や台数に合わせて最適なプランと導入サポートを行っています。obniz 公式サイトにて、お気軽にお問合せください。

CambrianRobotics はこれからも、対象物の遠隔操作や双方向通信、位置情報を必要とする産業向けに『obniz』が持つテクノロジーの活用を推進してまいります。

ニュースリリースに関する
お問合せ

株式会社 CambrianRobotics
PR 担当:アン
pr@cambrianrobotics.com

〒170-0005
東京都豊島区南大塚3-51-5
HK アークビル2F
TEL: 03-6912-7768

株式会社 CambrianRobotics (カンブリアンロボティクス)

「IoT」(Internet of Things) =モノのインターネットの時代を先見し、2014年に創業。複雑なプログラムや回路の開発を不要にし、インターネット上で対象物の管理や解析、遠隔操作を可能にする、最速で低価格な『obniz(オブナイズ)』シリーズを展開しています。

『obniz』の製品やサービスは、DIYと呼ばれる個人での自由なモノづくりはもちろん、医療や介護現場、建設業や宿泊施設、教育分野など、既に幅広い領域で活用されています。

共同創業者そしてエンジニアでもある佐藤雄紀と木戸康平を中心に、私たちはこれからも「IoT」の技術を進化させ、社会へと貢献する製品とサービスを広く皆様へご提供します。

<製品事例>



obniz Board
(オブナイズ ボード)



obniz BLE/Wi-Fi
ゲートウェイ



obnizOS
(オブナイズ オーエス)

■社名	株式会社 CambrianRobotics
■代表者	代表取締役社長 佐藤雄紀(さとうゆうき)
■本社所在地	東京都豊島区南大塚3-51-5 HK アークビル2F
■創業	2014年11月
■事業内容	-ハードウェアクラウドサービスの提供 -電子基板『obniz(オブナイズ)』の製造販売
■特許	特許 6439954 特願 2018-208745 USPTO under review

<こちらのニュースリリースならびに、CambrianRobotics に関するお問合せ先>

CambrianRobotics Inc.

株式会社 CambrianRobotics
PR 担当: アン
pr@cambrianrobotics.com